

生きがい

編集発行

新居浜市高齢者生きがい創造学園

新居浜市上原二一八一

(☎ 四四一四八二六)



我がウォーキングサークル

高齢者生きがい創造学園

代表者会 会長

大塚 茂雄

平成十四年度の生きがい創造学園の講座(郷土を歩く)を卒業したメンバーで、ウォーキングサークル(やまびこ)を発足し、それから、現在十二年目を活動中です。発足当時のメンバーの方で、亡くなったり、健康を害したり、多忙のためだったりして、抜けられた方もいる反面、新規に入会される方も大勢いて現在三十一名で楽しくウォーキングしています。

発足当時は、十年以上前でしたので、登山を含め、歩く距離も10kmをはるかに越えています。現在では、体力の衰えも隠せず、安全を第一に計画を立て歩いていきます。

(やまびこ)は、会員の皆様の結束の良さと和気諸々の雰囲気魅力です。毎年二月に総会を実施し、行き先募集のアンケートや各人の発言を討議の上、年間計画を作成しています。これを基本に運営・ウォーキングしていますが、この他に、ボランティア活動、ハーモニカ、カラオケ、登山などのクラブで、ウォークとは別の楽しみを作っております。また、八月は猛暑の季節なので、納涼演芸会で涼しく楽しみ、十二月は、忘年会で盛り上がっております。

このような活動も生きがい創造学園の体験学習で、メンバーが結束できたことが重要な要因だと認識しています。

学園内のウォーキングサークルの古参サークルが段々退会され、我が(やまびこ)が二番目に古い位置となったようですが、まだまだ、フレッシュな感覚を忘れず邁進するつもりです。

高齢者なんて、冠名は必要のない健康で楽しい学園活動をおくりましょう。

8月	5金	4木	3水	2火	1月	日曜
コーラス教室 ラージボール卓球教室	弥生(生花) メヌエット(ピアノ) 広瀬GG(ゴルフ) 桃山C(卓球) ハッピー(ダンス)	書龍(書道) サンシャイン(写真) 別子GG(ゴルフ) 桃山D(卓球) 亀池B(陶芸)	桃山C(卓球) 広瀬GG(ゴルフ) 書心(書道) ピアノ教室	絵手紙教室 書硯(書道) ドルチェ(ピアノ) 別子GG(ゴルフ) 桃山C(卓球) ワルツ(ダンス)	山茶花(俳句) いとこのこ(組み木) 桃山D(卓球) ハッピー(ダンス)	午前 午後
いずみ(短歌) 百描会(美術)	桃山A(卓球) なごみ(茶道) 山雄会(カラオケ)	亀池B(陶芸)	ミニッツ(ハーモニカ) シヨパン(ピアノ) 桃山B(卓球) 亀池A(陶芸)	高齢社会を賢く生きる 桃山A(卓球) 亀池B(陶芸)	ウッド(組み木) 桃山B(卓球) 亀池A(陶芸)	

平成25年度 代表者会役員一同

役員	会長	大塚 茂雄	やまびこ	委員会	総務	委員長	藤田 哲夫	コンテニュー
	副会長	飯塚 紀夫	のこのこ		副委員長	近藤 茂子	絵手紙はなみずき	
		真鍋 幸子	ハッピー		広報	委員長	山本 和一	高齢社会を賢く生きる
		田坂 重只	桃山A			副委員長	瀬崎 貞三	短歌みらい
	会計	加藤 順子	ウォークひうち		体育	委員長	真鍋 友一	別子GG
	会計監査	高橋 正明	ねこやなぎ			副委員長	越智 和人	広瀬GG
		渡部 悟	広瀬GG		図書	委員長	三柴 三郎	家庭菜園教室
						副委員長	谷口紀久雄	ソナタ



16	12	11	10	9	8	日
火	金	木	水	火	月	曜
ワルツ (ダンス) 別子GG (ゴルフ) ドルチェ (ピアノ) 書硯 (書道) 絵手紙教室 家庭菜園教室	桃山C (卓球) 広瀬GG (ゴルフ) 趣味の料理教室	別子GG (ゴルフ) 桃山D (卓球) 街道をゆく 書峰 (書道) 四季の組み木教室 写真教室	桃山C (卓球) 広瀬GG (ゴルフ) ソナタ (ピアノ) 書道教室	ワルツ (ダンス) 別子GG (ゴルフ) エリーゼ (ピアノ) みどり (茶道) 絵手紙なでしこ	ハッピー (ダンス) 桃山D (卓球) さくら (茶道)	書楽 (書道) あすなる (俳句)
桃山A (卓球) やながわ (川柳)	桃山A (卓球) 山雄会 (カラオケ)	ひろせ (コーラス) のこのこ (組み木) 亀池B (陶芸)	短歌教室 コンテニュー (ハーモニカ) ピアノ10 (ピアノ) 桃山B (卓球) 亀池A (陶芸)	高齡社会を賢く生きる 絵手紙はなみずき 桃山A (卓球)	桃山B (卓球)	午前 午後

趣味は仲間づくり

(卓球サークル 桃山D)

学園のラージボール卓球のサークルに入つて10年の月日が流れる。お願ひします!と挨拶の後、練習開始。一人では出来ない。卓球仲間に感謝しながら趣味を愉しんでいる。

趣味はある意味で(仲間づくり)。人と一緒に楽しめることが一番良い。コース、俳画、料理、ウォーキングなど、仲間と一緒に学ぶ事を愉しんでいる。

趣味を一つ持つっていると気持ちに余裕が出来て、付き合ひも広がって楽しい。

気分転換という意味でも有効である。70歳代ではこの頃さほど老人ではないかもしれないと何かで読んだことがある。年と共にいろいろな機能障害が出て、老いとはこういうものかと自覚し始める。

一方格好よく生きたいとの思いもある。「年相応」は自然な事だと受け入れることがとても大切な気がする。求めすぎない。悩みすぎない。頑張りすぎない。ありのままに生きる。年を重ねて初めて分かる驚き、分かち合える喜びがある。

まさに自己発見の黄金の季節である。人生の荒波を超えるために読書で力を養う。老年の仕事は孤独に耐えること。決して孤立してはいけない。

老いて得た自由と解放感を無理なく素直に自分らしく、生かされている生を丁寧に磨きながら、残された持ち時間を埋めて生きたいと念じている。

(中萩 小崎 多美子)

方言は文化遺産

(川柳サークル ねこやなぎ)

先日、産経新聞に「『じえじえじえ』ブームに見る方言考」という記事がありました。

概要は、NHK連続テレビ小説「あまちゃん」のお陰で人口僅か七百二十人のテレビ小説の舞台、岩手県久慈市小袖地区で、驚くときに口にする「じえ」がブームになっている。

地元を離れていく若い世代が都会で恥ずかしい思いをしないように、この「じえ」の使用を封印していて廃れる一方だったのが、思わぬブーム到来で「若者が方言になじむきっかけ」と期待されている。

血が通った生の方言は、生活の中で使つてこそ貴重な文化遺産として後世に伝えていくことができる。という内容でした。

因みに、四月のサークル活動のとき、井原みつ子先生から「金田一春彦ことばの学校」が募集している「方言川柳」に応募しませんかというお話がありました。

そこで、サークルのメンバーで新居浜弁にどのようなものがあるか出し合ってみました。そうしたら、現在も使っているものから、子供の頃は使つても現在殆ど使われていないものまで沢山の方言があることに改めて気付きました。

方言を意識的に使つて地域のアイデンティティをアピールすることも出来ます。方言を地方の貴重な文化遺産として後世に伝えたいものです。

方言川柳の題は「食べる」でした。私は次の二句を応募しました。

・洗いやけ(食器洗い) 嫌いなくせによう食べる
・レシピにはねんごう(屁理屈) 言うが料理下手

(金子 高橋 正明)

日	曜日	午前	午後
17	水	ピアノ教室 書心(書道) そよかぜ(俳句) 広瀬GG(ゴルフ) 桃山C(卓球)	陶芸教室 シヨパン(ピアノ) ミニッツ(ハーモニカ) 桃山B(卓球)
18	木	郷土を歩く 書龍(書道) フレッシュ2009 ウォークひうち げんき2012 絆 やまびこ 別子GG(ゴルフ) 桃山D(卓球)	
19	金	茶道教室 メヌエット(ピアノ) さつき(生花) 広瀬GG(ゴルフ) 桃山C(卓球) ハッピー(ダンス)	なごみ(茶道) 山雄会(カラオケ) 桃山A(卓球)
22	月	グラウンドゴルフ教室 書楽(書道) ねこやなぎ(川柳) さくら(茶道) ウッド(組み木) 桃山D(卓球) ハッピー(ダンス)	墨友(書道) いとこのこ(組み木) 桃山B(卓球)
23	火	みどり(茶道) エリーゼ(ピアノ)	亀池B(陶芸) 桃山A(卓球)

木と向い合って

(組み木サークル いとのこ)
一枚の板から動物、人形、パズル等を作る事が出来る。これは面白そうだ、私もやってみよう」と受講しました。

白石芙美枝先生から図案を渡され、針、木の説明を受け、電動糸ノコ盤の前に座る。スイッチを入れ針が上下に動く。気をつけながら作業をする。しかし針は線の上をうまく走ってくれない。そろそろカーブにさしかかる。どうしようと思った矢先、針が鈍い音をたてて折れる。気がつけば木ではなく、自分の体が曲ってて苦笑した。

まさしく悪戦苦闘とはこの事だ。そこで針の交換をする。なんとか白石先生のご指導を受けながら、初の作品が完成した時は嬉しく、久々に童心に返り顔が緩む。不出来ながらも木の温もり、優しさを味わった。

木も私達と同じで堅い木もあり、柔らかい木もあり生き物だ。どこの山で育ったのだろうかと思ひ巡らす。いつも心落ち着いて、ゆっくりと作業する時は、やはり針も素直に真っ直ぐに進んでくれる。しかし少しでも慌てると不出来だ。いつも真っ直ぐと心で唱えつつ、楽しんでいきます。最後に良き師、良き仲間巡りに巡り合ひ、同じ目的に向い楽しく時間を共有出来る事を感じます。

(高津 鴻上 弘至)



作品作りに取り組む「いとのこ」のみなさん

日	23	24	25	26	29	30	31
曜	火	水	木	金	月	火	水
時間	午前	午前	午前	午前	午後	午後	午後
絵手紙うさぎ	別子GG (ゴルフ)	書道教室	書峰 (書道)	別子GG (ゴルフ)	別子GG (ゴルフ)	別子GG (ゴルフ)	別子GG (ゴルフ)
ワルツ (ダンス)	ソナタ (ピアノ)	クロワッサン	桃山D (卓球)	桃山D (卓球)	桃山D (卓球)	桃山D (卓球)	桃山D (卓球)
ワルツ (ダンス)	広瀬GG (ゴルフ)	桃山C (卓球)	桃山C (卓球)	桃山C (卓球)	桃山C (卓球)	桃山C (卓球)	桃山C (卓球)
コンテニュー (ハーモニカ)	ピアノ10 (ピアノ)	桃山B (卓球)	ひろせ (コーラス)	山雄会 (カラオケ)	百描会 (美術)	代表者会	代表者会
桃山B (卓球)	桃山B (卓球)	桃山B (卓球)		桃山A (卓球)	桃山B (卓球)	桃山A (卓球)	桃山B (卓球)
亀池A (陶芸)	亀池A (陶芸)	亀池A (陶芸)		百描会 (美術)	百描会 (美術)	百描会 (美術)	百描会 (美術)

◇ 今月のロビー展 ◇

(七月一日〜七月三十一日)

書峰 (書道)
書心 (書道)
組み木グループ

*八月の予定

亀池A (陶芸)
亀池B (陶芸)
百描会 (美術)



大会歌と行進曲

(講座 高齢社会を賢く生きる)

今年の時序の正しき梅雨入りかな
高浜虚子の句である。四季折々、時節が暦に沿って進んでいくと、何となく安心感のよ
うなものを感じるが今年の梅雨入りは虚子の
俳句の様ではなかった気がする。序でだが(梅
雨入り)は(へつり)である。

ところで、私事であるが『栄冠は君に輝く』
について調べる必要ができた。誰もが知って
いる有名な夏の甲子園大会の大会歌で、昭和
23年に発表されたものである。

作曲は古閑裕而であるが歌詞は公募によつ
て選ばれた。賞金は5万円で、公務員初任給
(昭和23年1月時点で2300円)の約22倍
と高額であった。入選者は、懸賞金目当てと
思われるのを嫌い、婚約者だった高橋道子の
名前を借りて応募したそうである。

大会歌と並んで国民的行進曲と称される入
場行進曲は『全国高校野球選手権大会行進曲』
である。この行進曲には歌詞があった。
作詞・富田碎花・作曲・山田耕筈

百錬 競える この壮美
羽ばたけ 若鷹 雲裂きて
溢るる感激 迸る意気

今日ぞ 晴れの日 起て男児
掲ぐるほこりに 旭日映えて
球史燦たり 大会旗

時代がかってはいるが私は格調高い歌詞と
思うが。

全くの余談であるが「住友建設三十年史」
によると富田碎花は別子建設(現三井住友建
設)の社歌を作詞しており、三十年史には、
社歌「格調高き珠玉の一篇」と記されている。
梅雨が明け夏の甲子園大会が近づくと高校
野球にあまり興味のない私でも、夏が来たな
と実感するようになる。

(中萩 山本 和一)

学園歌壇

サークル「短歌みらい」

茄子トマト浚つて逃げる猿群(さる) 追えば枝
を揺さぶり威嚇してくる 尾崎 幸子

ギリギリの布切れまとう乙女らのシヨートパン
ツの太ももまぶし 高橋 征子

共に汗を拭きつつ農のリヤカーを押し上げし道
亡父(ちち)の思ほゆ 三浦 忠光

サークル「いずみ」

夕闇に冷氣ふるわせくくくと猿の鳴き声淋し
く聞こゆ 横川 若水

花水木咲く今日の朝を迎えたり深呼吸して春を
吸いこむ 金子由美子

車座の花見客の手拍子で津軽三味線の渦湧き上
がる 桑原八重子

学園柳壇

サークル「やながわ」

石ころを積みつつ歩く人生路
突然の豪雨水面でダンスする 宮部 照美
石仏の顔にやさしさを貰う 山本 嘉恵
藤田貴美代

サークル「ねこやなぎ」

遺伝子にないものばかり子に望む 高橋 正明
紙芝居大人が見ても楽しめる 竹内 睦子
大丈夫涙が次のバネになる 寺井ひとみ
真実は一つ狼狽えたりしない 井原みつ子

講師 井原みつ子

学園俳壇

サークル「そよかぜ」

校庭は休みに入りて蝉時雨 徳永 洋一
雉鳴いて香華手向ける野辺の墓 橋本 信人
新緑や瀬戸を眼下に食ぶ昼餉 松本美智子

サークル「あすなろ」

天つ空城山街を跨ぐ虹 逢坂 繁子
遠足来山彦休む暇のなし 青野 幸永
五月句会再び歳時記開きけり 泉 百合子

サークル「山茶花」

放流のダムが起点や樟若葉 瀧本 隆子
句碑の里新樹光受く多佳子の碑 森 フサエ
薔薇よりも濡れては薔薇を剪にけり 林 義廣

索道で筒降ろし出荷する
遍路バスガイドも袈裟を掛けてゐる
走り梅雨往診医師の黒靴

講師 阪上 史琅

ご恵贈お礼

◎ロビー生け花 六月度

鴻上 美智甫 様 (講師)

◎川柳にはま 六月号

にいしま川柳会 様

平成25年度 第1回代表者会(式次第)

5月28日(火) 13:30～ 於:123教室

開 会 司会…総務委員会委員長 藤田 哲夫

- 1 開会の言葉…副会長 鈴木 勝
- 2 学園歌斉唱…副会長 真鍋 幸子
- 3 あいさつ (1) 教育委員会総括次長兼社会教育課長 木村 和則
(2) 生きがい創造学園代表者会会長 大塚 茂雄

4 職員紹介

園 長:小野 健治 指導員:三浦 孝信 指導員:青木 英子
指導員:藤田みゆき 補助員:田中 克司 管理人:間瀬 敏

5 自己紹介(講座・サークル番号順)

議 事 議長…(高橋 正明)

- 1 代表者会会則説明 …会長
- 2 平成24年度決算報告…加藤 順子
- 3 監査報告 …田中 博明
- 4 平成25年度役員選出について…推薦委員会委員長 細川 衛
会 長 (1名)(大塚 茂雄)
副会長 (3名)(飯塚 紀夫)(真鍋 幸子)(田坂 重只)
会 計 (1名)(加藤 順子)
会計監査(2名)(高橋 正明)(渡部 悟)
- 5 各委員会説明…各委員長(旧)
総務委員会…藤田 哲夫 広報委員会…山本 和一
体育委員会…渡部 悟 図書委員会…三柴 三郎
- 6 各委員会所属分け及び正・副委員長の選出と紹介
- 7 新旧役員あいさつ
(1) 旧役員退任あいさつ
(2) 新役員就任あいさつ
- 8 平成25年度活動方針と予算について(寄付金)…会長
- 9 グラウンドゴルフ大会骨子…実行委員長 真鍋 友一
- 10 その他
(1) 平成25年度代表者会並びに学園行事等年間計画…会長
(2) 平成25年度ロビー展について…総務委員長
(3) 購入図書(DVD)申込みについて…図書委員長
(4) 「生きがい」紙投稿年間予定表及び配布数と学園祭の反省…広報委員長
(5) サークル活動について…園長
(6) 駐車場の使用について…園長

閉 会 閉会のことば…副会長 飯塚 紀夫

